

複製・配布は自由です。ご自由にコピーまたはプリントアウトしてお読みください。

(C)2006 1mouke.com

## ウェブビジネス・スキル分析のフレームワーク

Webプロデューサー 大和賢一郎

### 1 はじめに

本資料は、ウェブを活用したビジネスモデルを構築するにあたり、必要とされるスキルを分析・整理したものである。

### 2 目的

本資料の目的を以下に挙げる。

- ・ ウェブビジネスの成功に欠かせないスキル要素を定義し、フレームワークとして公開する。
- ・ 各個人のスキルアップ戦略を策定するにあたり、方向性を決めるための「切り口」を提供する。
- ・ 金銭面と精神面でバランスの良い満足感を得るための「理想のビジネスモデル構築」をサポートする。

### 3 スキル要素

ウェブビジネスに必要な「3大スキル要素」を以下に定義する。

#### ●(1)ウェブ技術

ウェブサイトの作り方に詳しく、HTML言語やCGIなど、ホームページ作成に必要な十分なスキルを備えている。スタイルシートを使ったウェブデザインにも精通し、ウェブプログラマーおよびウェブデザイナーとして通用する専門技術を有している。ホームページビルダー等の専用ソフトウェアも使いこなすことができる。パソコンが好き。

#### ●(2)ビジネス力

収益を上げるビジネスモデルを考えることを得意とし、企画・商品開発から営業・販売まで、一貫した戦略を構築することができる。マーケティングにも精通し、客観的な視点で自分のビジネスを分析、評価するための知識・スキルを有している。数字に強く、アイデア豊富で、現実主義。コスト意識が強く、思考は論理的である。

#### ●(3)考え方

人生の目標・生き方について考えることが好きであり、自分と向き合うことを得意とする。夢・ビジョン・理想をかけた、進むべき方向を明確に定義している。ビジネスの目的を「利益追求」だけに設定することなく、人としての喜びや充実感、達成感を得ることを重要視する。生き方に迷いがなく、軸が定まっており、自信と余裕がある。

ウェブビジネスで「人生の成功」を手に入れるためには、上記3つの視点から、バランスよくスキルを身につ

けていく必要がある。ある1点だけに集中したスキルアップでは偏りが生じてしまうため「幸せな人生を手に入れる」という観点からすると有効ではない。

#### 4 スキル・スタック

ウェブビジネスに必要な3大スキル「ウェブ技術」「ビジネスカ」「考え方」の位置関係は、つぎのように示すことができる。顧客(サイトへの訪問者)から見て、1. ウェブ技術 2. ビジネスカ 3. 考え方 の順で積み重なっている。この構造を「スキル・スタック」と呼ぶ。

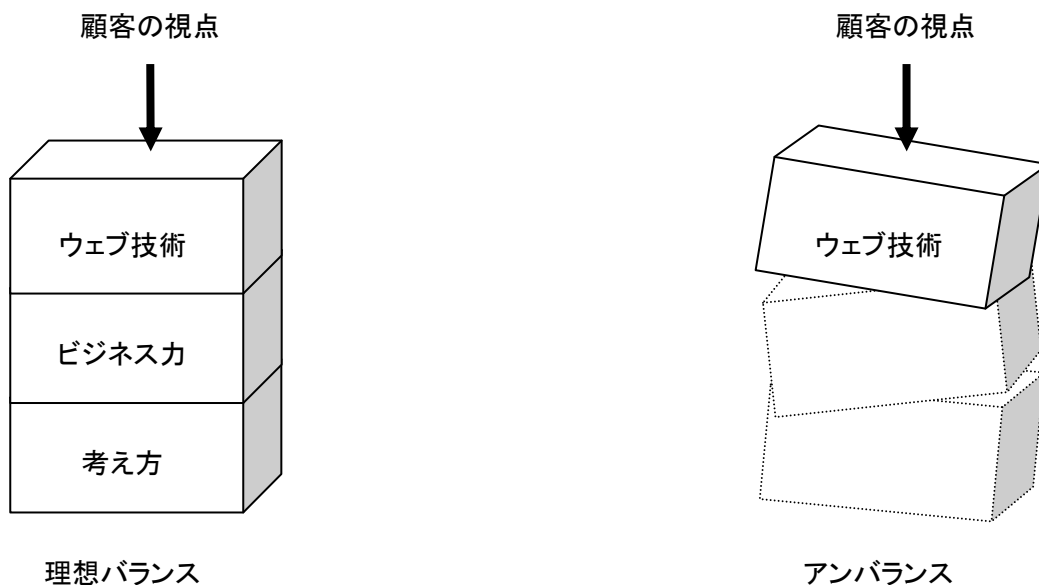


図1. スキル・スタック

ウェブサイトを訪問した顧客は、まず「ブラウザで見える表面的な部分」を閲覧する。その後、読み進めながら、サイトの背景にある「ビジネスモデル」や「考え方・思想」を探ろうとする。スキル・スタックの土台である「ビジネスカ」や「考え方」がしっかり構築されていれば、一貫性のあるメッセージで、顧客の信頼を得ることができる。一方「表面的な見せかけのウェブ技術」だけで構築されたサイトは、進むべき方向が定まっていないため、理論的に成立しなくなり、根幹から徐々に崩れていく。

## 5 スキル・バランス

スキル・スタック「ウェブ技術」「ビジネス力」「考え方」のバランスを保つためには、それぞれの要素について、自己のスキルレベルを客観的に分析することが重要である。以下、バランス状態を数値化するためのフレームワーク「スキル・バランスのレーダーチャート」を公開する。

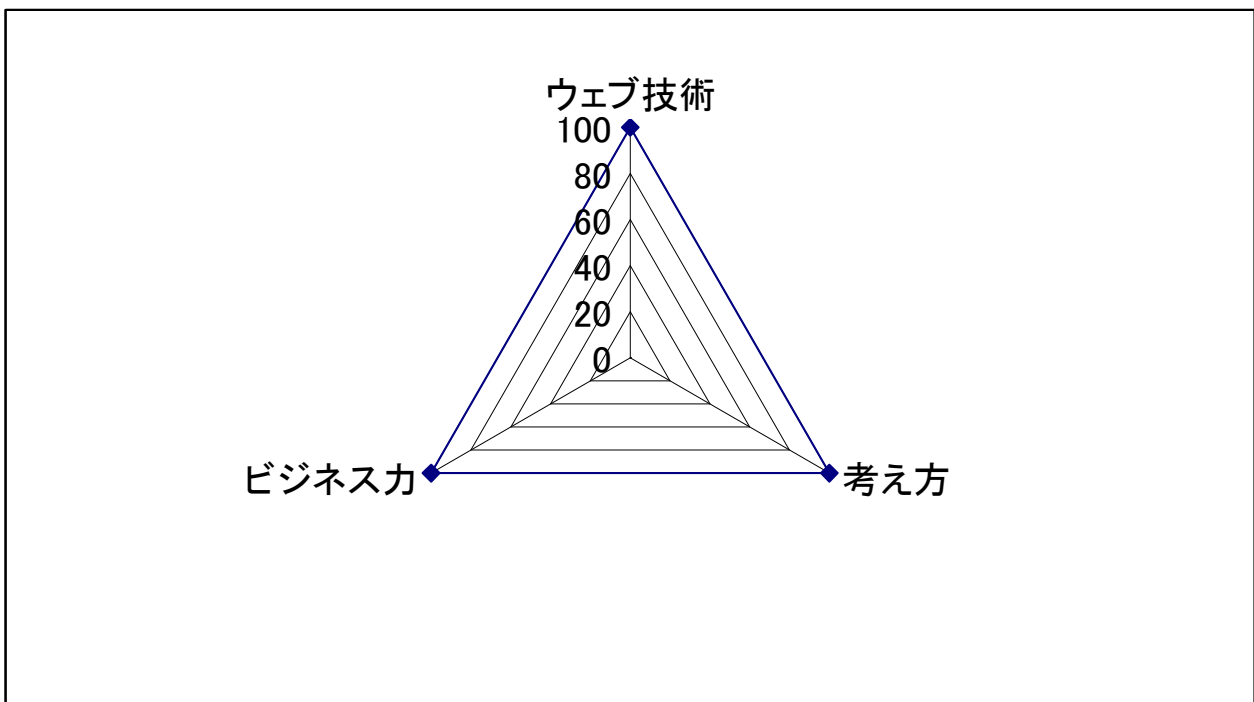


図2. スキル・バランスのレーダーチャート

本チャートの利用においては、各要素を「明確に数値化すること」自体は、あまり意味をなさない。主観で自己スキルを評価する以上、数値そのものには説得力がない。重要なのは「納得」であり、チャートを利用した本人が「自己スキルのアンバランスを自覚すること」である。偏りに気づき、将来のスキルアップについて、効果的な投資をしていくための「地図」を作ることが、このチャートを使う目的である。

## 6 スキル・バランスの違いによるタイプ分類

スキル・バランスのレーダーチャートにて「すべての要素を正確に数値化」することは難しい。しかし「スキルがある／ない」というように簡略化すれば、自分の傾向を大まかに知ることができる。基準としては「自分の周りにいる友人・知人の平均値と比較して、自分のスキルレベルが上か？ 下か？」で判断するとよい。

以下、「○スキルあり」「×スキルなし」として、スキル・バランスの特性を7つのタイプに分類したものを示す。

表1. スキル・バランス別にみる、各タイプの特徴

○スキルあり      ×スキルなし

分類	ウェブ技術	ビジネス力	考え方	特徴
タイプ1	○	×	×	プログラマ
タイプ2	○	○	×	利益主義者
タイプ3	×	×	○	理想主義者
タイプ4	×	○	○	企業経営者
タイプ5	×	○	×	コンサルタント
タイプ6	○	×	○	コミュニティ・リーダー
タイプ7	○	○	○	ウェブ・プロデューサー

### ●タイプ1. プログラマ

ウェブ技術の専門家。HTML言語やCGIの作り方には詳しい。しかし「どうすればウェブで収益を上げられるか？」を考えるのが不得意。ビジネスモデルを構築したり、経営戦略を練ったりするためのスキルが不足している。IT業界で働いているが、日常業務が多忙なため、夢やビジョンについてゆっくり考える時間が取れない。

### ●タイプ2. 利益主義者

ビジネスモデルの構築が得意であり、それを実現するための必要十分なウェブ技術を習得している。そのため、インターネットで収益を上げることは簡単であり、好きなだけ利益を追求することができる。しかし、ビジョン設定のための考察が不十分であり、人生の目標が定まらず、利益主義に走り、進むべき方向を誤る可能性がある。

### ●タイプ3. 理想主義者

人生の目標を明確に設定できており、自分が進むべき方向を自覚している。そのため、夢やビジョン、成し遂げたいことを語るのは得意である。しかし、そのビジョンをビジネスとして成立させるためのスキルが不足しているため、資金力および組織力が追いつかない。また、ウェブを有効に活用できないので実務がこなせない。

●タイプ4. 企業経営者

抜群のビジネスセンスを持ち、経営戦略の構築を得意とする。斬新なアイデアを次々と生み出す柔軟な思考を持ちながら、同時に「費用対効果と成功確率を冷静に分析する判断力」も兼ね備えている。人間的にも豊かであり、ビジョンや経営理念に反した業務は行わない。ウェブ技術には疎いが、専門家を雇うことで対応できる。

●タイプ5. コンサルタント

ウェブ技術の専門家ではなく、精神論や人生論を語る理想主義者でもない。しかし「ビジネスを論理的に分析するスキル」には長けており、あらゆる事業モデルを冷静かつ客観的に評価することができる。独自設計のフレームワークを駆使し、モレなくダブリなく、ビジネスの問題点と課題を洗い出す、分析のプロフェッショナル。

●タイプ6. コミュニティ・リーダー

自分の好きなこと、やりたいこと(趣味・趣向)がはっきりしており、そのためなら時間と労力を惜しまない。ウェブ技術を習得することも「遊びの一環」と位置づけている。専門家ほどの高いスキルは有していないが、趣味やサークルのページを立ち上げることに積極的であり、コミュニティの創設者・リーダーになることが多い。

●タイプ7. ウェブ・プロデューサー

ウェブの専門知識・技術を有しており、実務経験が豊富。サイトの制作のみならず「そのサイトをいかにしてビジネスに組み込み、収益を上げるか？」まで戦略的に設計できる。また「サイトの存在意義、進むべき方向・ビジョン」を明確に定義し、お金と精神の満足バランスを保ちつつ、正攻法で稼ぐウェブシステムを構築・運用できる。

重要なことは、まず「現在の自分はどのタイプに近いか？」を把握することである。その上で「自分が本当に目指している理想のタイプはどれなのか？」を考えるとよい。スキルアップとは「現実と理想のギャップ(能力差)を埋めること」であり、理想無きところに「習得すべきスキル」は存在しない。人生の正解とは「完璧なる全人になること」ではない。「自分になりたい姿になること」である。

—以上—